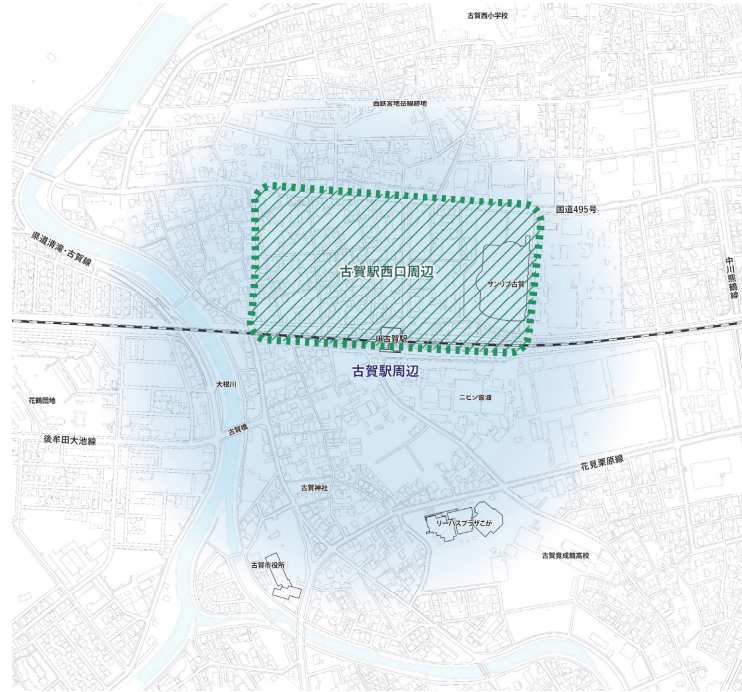


JR古賀駅西口周辺整備基本方針【概要版】

はじめに

現在、古賀駅周辺では、ウォーカブル推進都市として、当該地区を「居心地が良く歩きたくなる」まちなか空間に整備していくために検討を進めています。特に古賀駅東口周辺地区においては、一体的な基盤整備の検討が行われているなかで、西口周辺においても、エリアマネジメントを中心に担い手の発掘やまちづくり組織の組成、新規事業支援などの検討を実施している段階です。これらを踏まえ、西口周辺の事業者や地元活動団体等と連動しながら、古賀駅東西の連続性を高め、エリア全体の価値向上を目指していくため、官民での連携を深め古賀駅西口の駅前広場や周辺道路を含めた整備を推進するための整備基本方針を定めます。本整備基本方針は未来ビジョンとしての役割を持ち、計画づくりにおいては、古賀駅西口周辺を主対象としつつも、関連する事項については広域・中域的な観点から検討を行い、社会実験「古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト」の成果を反映したほか、エリアマネジメントの取組みを推進するための体制づくりに関する事項についても、とりまとめました。



まちのコンセプト

古賀駅西口周辺の課題や特徴を踏まえ、まちづくりの指針となるまちのコンセプトを設定し、めぐり歩いて楽しいウォーカブルなまちづくりを推進します。

「めぐる」をつくる

—古賀駅西口の本質的再生へ ウォーカブルなまちづくり—



現状・課題を踏まえたまちづくりの考え方

活かすべきまちの特徴

- ・点化する店舗の集積
- ・複数の地元活動団体の存在
- ・細かい街区割りと細街路
- ・歩行者が多く歩く動線ルートと結節点となるまちかど 等

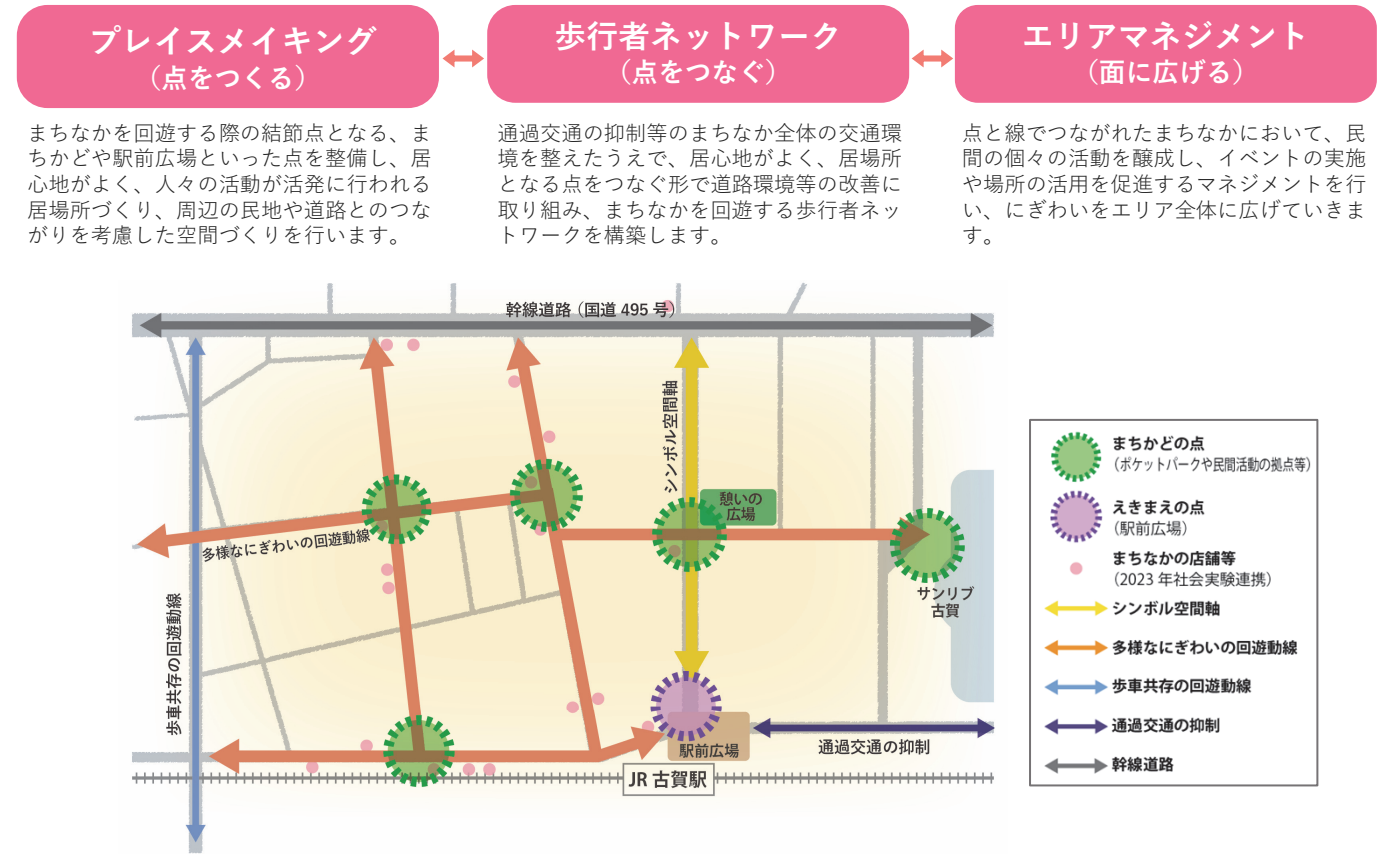
改善すべき環境

- ・まちなかへの通過交通の流入
- ・歩行環境の悪い道路
- ・未利用宅地（空地・駐車場）や空家
- ・規模が小さく老朽化した駅前広場 等

既存の街路やまちの雰囲気を活かしながら、それらの魅力をより高めるためにまちの環境改善や地元の活動の活性化に取り組み、めぐり歩いて楽しいまちなかをつくる

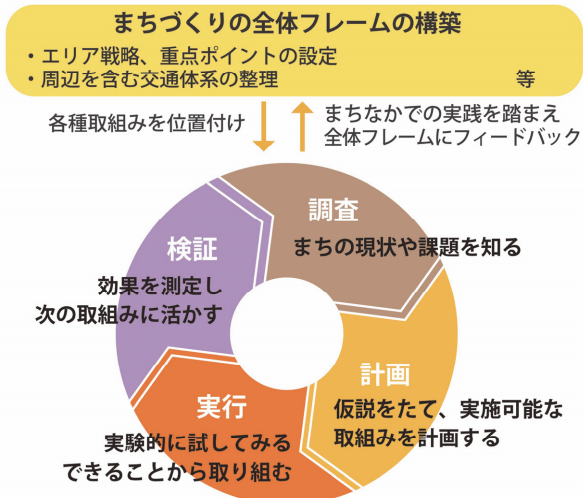
まちの方針

駅前広場やまちかど等の点の整備、点をつなぐかたちでの歩行者ネットワークづくりと民地を含む面的なエリアマネジメントを並行して展開し、古賀駅西口周辺の本質的な再生を目指します。



まちづくりの進め方

古賀駅西口周辺エリアのまちづくりは、点や線の整備とそれらの活用やエリアマネジメントの面的な展開等、様々な事柄が輻湊するものです。そのようななかで、エリア戦略や重点的に取り組む事項等のまちづくりの全体フレームを構築したうえで、社会実験や小さな整備等、できることから調査・計画・実行・検証のサイクルを重ねていきます。それらの検証結果をまちづくりの全体フレームにフィードバックしたうえで、空間の改良や別の整備を行っていくことで、まちづくりを継続・発展させていきます。



社会実験：古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト

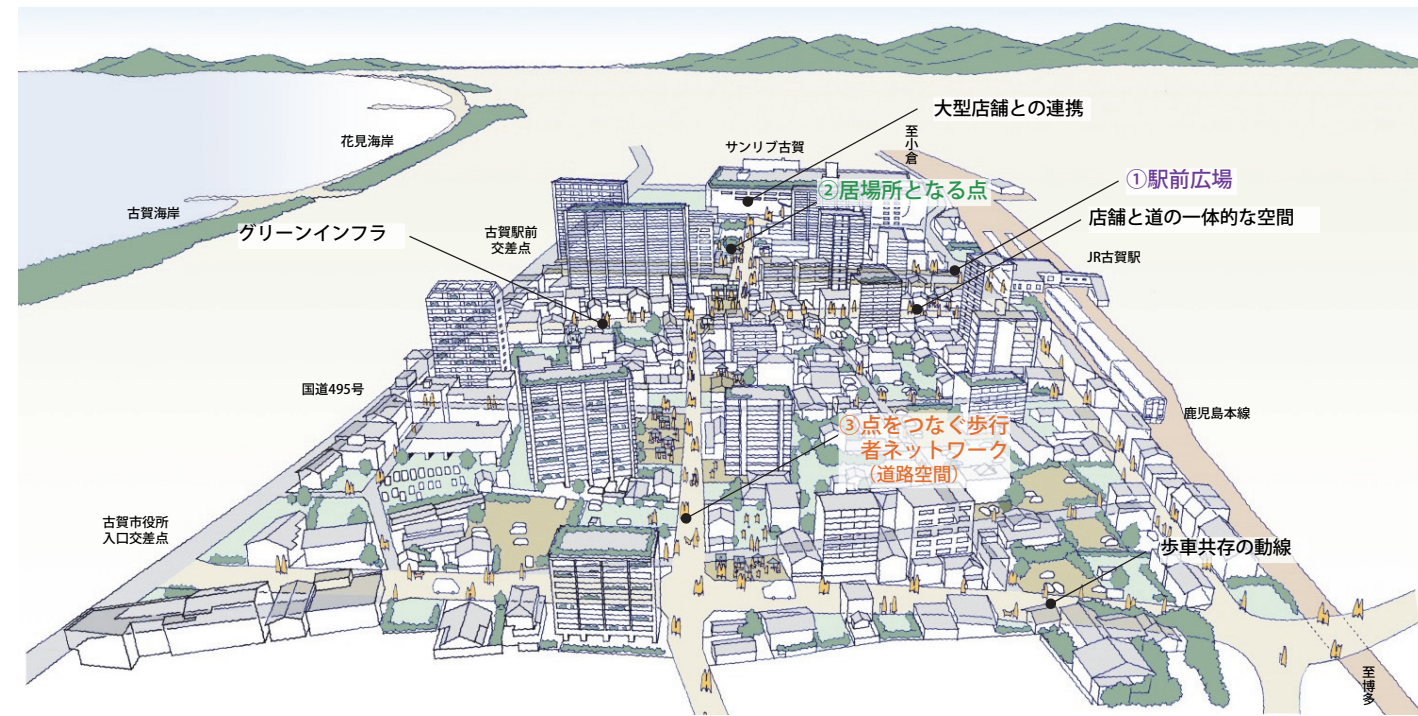
調査→計画→実行→検証のまちづくりのサイクルを短期的にまわす社会実験「古賀駅前まるごと遊び場プロジェクト」を継続的に実施することでまちの漸進的な環境改善と地域のまちづくり機運の向上に取り組みます。社会実験の結果を空間整備やまちづくり活動に活かしていきます。



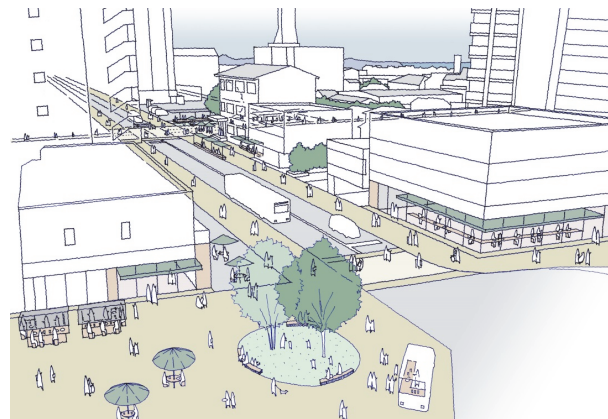
2023年11月に実施した古賀駅前まるごと遊び場プロジェクトの様子

全体整備イメージ

空間整備の方針に基づく整備イメージを示します。

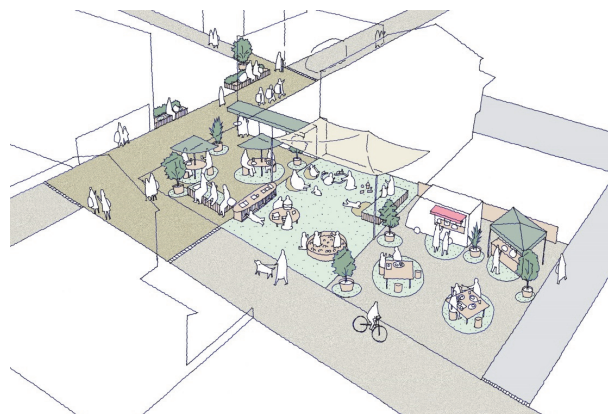


各整備イメージ



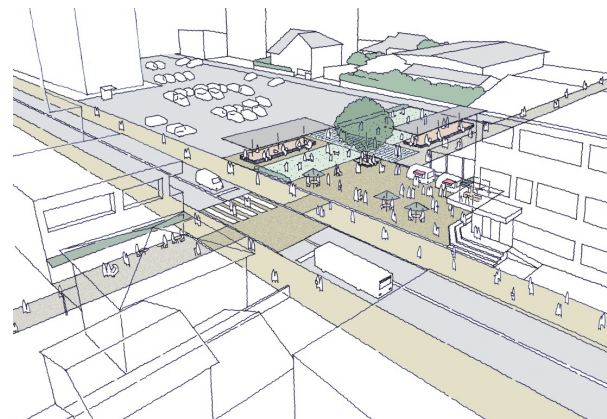
① 駅前広場

- 駅前広場を再整備し、自動車の必要な停車・駐車台数を確保するとともに、ゆとりある歩行者空間・待機場所を整備
- まちなかと高架駅舎との接続を強化
- 自動車動線を再編し、通過交通を抑制



②-2 居場所となる点 (まちかどプレイス)

- まちなかのまちかどを広場空間や外部と連続する店舗の軒先空間等、にぎわい・憩いの場となるよう環境づくりを推進
- 歩行者が気軽に立ち寄ることができ、地域の事業者や活動団体が多様な使い方ができる空間として活用



②-1 居場所となる点 (憩いの広場)

- 古賀駅、サンリブ古賀、南側市街地の歩行者の結節点として、憩いの広場を居心地がよく、様々な活動を誘発し、まちなかへ誘う拠点となる広場空間として再整備

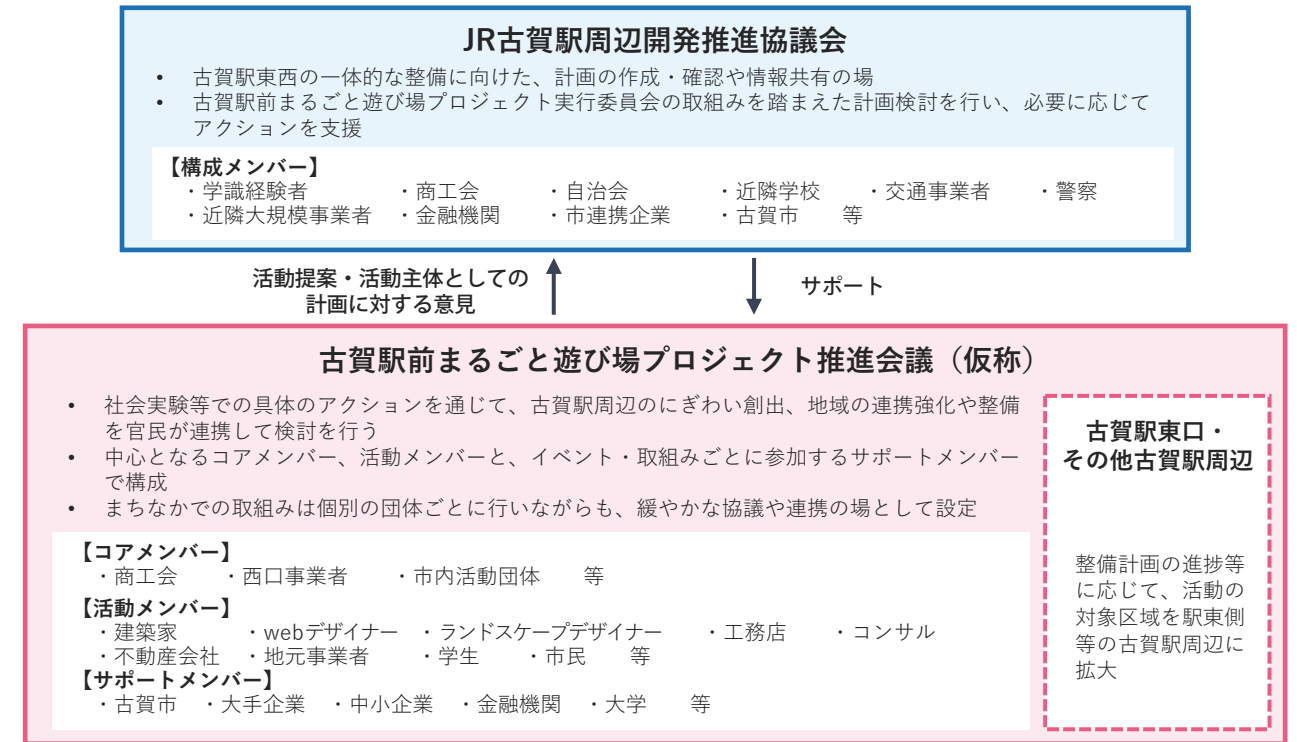


③ 道路空間

- にぎわいの回遊動線を歩きやすく景観を考慮した舗装等に整備
- 安全性を考慮した交差点アクセント舗装の整備や動線改善等の交差点部の改良
- 各地点での交差点改良やグリーンインフラの推進検討

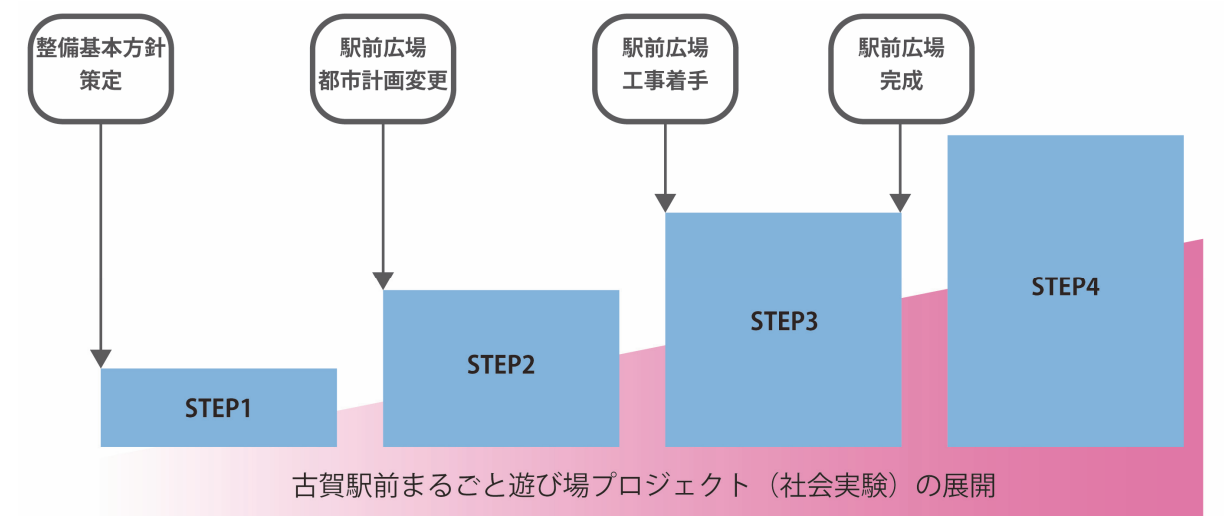
エリアマネジメント体制イメージ

古賀駅周辺では、2023年に市の附属機関として「JR古賀駅周辺開発推進協議会」を設置し、東西一体のまちづくりを推進しています。「JR古賀駅周辺開発推進協議会」では、古賀駅周辺整備に関する各種計画の確認や関係者間の情報共有を行い、必要に応じて各エリア毎の活動を支援します。古賀駅西口周辺エリアでは、エリアの魅力向上に向けて、基盤整備によって改善したまちなか環境を、それぞれの団体や活動が使いこなし、活動を活発化しつつ、連携できるような緩やかな体制の枠組みが望ましいといえます。そこで、新たに「古賀駅前まると遊び場プロジェクト推進会議（仮称）」を設け、社会実験の実施を主体としつつ、まちづくりに関しての情報共有や協議の場とし、活動を推進していく体制を検討していきます。



整備の進め方

古賀駅西口駅前広場の計画・整備とあわせ、その他の基盤整備の実施やエリアマネジメントの展開を行っていきます。



計画内容の深度化

- 駅前広場基本設計
- 道路等の公共空間の計画
- 社会実験委員会組成
- 社会実験の検証・反映

小さな整備の開始

- 駅前広場実施設計
- 点、線整備の実施（順次）
- 社会実験委員会での活動検討
- 社会実験の検証・反映

駅前広場工事の実施

- 駅前広場工事
- 点、線整備の実施（順次）
- 社会実験等での更なる活動検討・ルールづくり
- 社会実験の検証・反映

場の活用とまちづくりの展開

- 整備された場の活用
- 社会実験による効果検証とブラッシュアップ
- 社会実験等での更なる活動検討